

学校教育目標

考える子  
やさしい子  
たくましい子

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成することを目的とする

全体的に読書好きな児童が多いが、読みの質を高めていく必要がある。調べ学習については、図書館とともにタブレットも上手に使い、積極的に取り組めるような環境をつくっていく。

学校図書館の目標

- 学校図書館に親しみ、読書の大切さや喜びを味わわせ、豊かな心情を育てる。
- 学校図書館の資料を効果的に利用し、主体的に学習に取り組む能力や態度を育てる。

ねらい

- ① 読書から生きて働く知識を習得するとともに、資料の収集の仕方、記録の取り方を身に付けることができるようにする。
- ② 問題を発見し、読書を通して集めた情報を整理・分析して解決するとともに、自らの考えをまとめ・表現することができるようにする。
- ③ 読書及び調べ学習を通じた探究的な学習の良さを認識し、主体的に取り組むとともに、社会の中で積極的に学び続けていこうとする態度を養う。

指導の重点

- ① 教育課程全体を通して、計画的な読書活動と学校図書館の活用を推進する。
- ② 学校図書館を利用した学習の充実と情報活用能力の育成を図る。
- ③ 司書教諭を中心とした学校図書館教育の推進を図る。

各学年の重点目標

第一学年	・読み物を楽しんで読もうとする。 ・図書館に親しみ、利用できる。	第二学年	・様々な種類の本を読もうとする。 ・進んで図書館を利用して調べようとする。	第五学年	・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。 ・目的に応じて図書館を適切に利用する。
第二学年	・読み物を進んで読もうとする。 ・図書館を正しく利用できる。	第四学年	・読書の幅を広げ、進んで読み、読書量を増やす。 ・調べ学習に意欲的に取り組む。	第六学年	・適切な読み物を選んで読む習慣を定着させる。 ・学び方を身に付け、課題解決能力を高める。

具体的な取り組み

【各教科】

- 各教科の目標を達成する中で、学習センターとしての学校図書館の意義を踏まえ、積極的・計画的に学校図書館を活用した学習を行う。
- 調べ学習のスキルを身に付け、学校図書館を活用し、情報を処理する能力を養う。

【読書科】

- 自分で選んだ本を読み、その内容を理解できるようにする。
- アニメーションやブックトークを通して、読書の良さが分かり、自分が見付けた疑問について、主体的に学んでいこうとする態度を育てる。

【特別活動】

- 学級活動を通して、学校図書館の利用の仕方や情報の適切な活用方法を身に付ける。
- 図書委員会を中心に、自発的・自治的に図書館を運営し、読書活動推進を展開する。

【総合的な学習の時間】

- 課題を設定し、図書館を活用しながら、段階を踏んだ調べ学習を行い、情報活用能力や主体的な学習態度を養う。

【特別の教科 道徳】

- 様々な資料を使って、道徳的心情を豊かにし、道徳的实践力を高める。

【家庭・地域との連携】

- 読み聞かせボランティアや環境整備ボランティアと連携し、読書環境を充実させる。
- 公共図書館や学校司書との連携を密にし、資料の充実を図る。

朝読書・昼読書の推進

国語科関連図書の充実

学習情報センターとしての図書環境の整備・充実